



# 匝瑳市立吉田小学校 このてかしわ

令和7年12月 3日(水) No.13



## 吉田小のよさを生かして ！

11月は、小中音楽会とマラソン記録会がありました。そして12月2日には縦割り祭があり、大きな行事が続く時期でした。その間に、校外での学習もあり、本当に行事がいっぱいの時期でした。そのような中で、子どもたちは本当にすてきな姿をたくさん見せてくれました。

音楽会では、演奏順がトップバッターでとても緊張したと思います。その上、たくさんの人、広い会場も子どもたちの緊張感を高めたことと思います。そのような中でしたが、吉田小学校の30名の児童は、堂々と、心を一つにして演奏することができました。子どもたちの演奏を聞きながら、音楽のよさを改めて感じました。

マラソン記録会でも教育的な価値を強く感じました。スタート前の緊張した顔、ゴールを目指して自分の限界と戦っている顔、そしてゴールした後のすがすがしい顔。参加した全員が最後まで走りきることができ、体力はもちろんですが、心も強くなったと思います。保護者の方々の声援も子どもたちの背中を押してくれました。

そして、縦割り祭り。音楽練習とマラソン練習の合間に活動を進めてきました。4つのグループに分かれた1年生から6年生が一緒になり、レクを考えたり、自分のグループの秘密基地を作ったりしていました。そういえば、私も小さい頃に、近所の友だちと板やトタンを使って秘密基地を作っていました。「秘密基地」は、今の子どもたちにとっても魅力的なのでしょうね。

「吉田小だから全校で演奏できる」「吉田小だから一人一人の頑張りを応援することができる」「吉田小だから全員で活動できる」。このよさを改めて感じました。これからも「吉田小だからできること」を実践していきたいと感じました。

## 笑顔いっぱいの子どもたち

- マラソン練習を通して、「あの子はいかに速い」と知る場面がありました。中学年では、上学年より速く走る子がいて驚きました。低学年では、物静かな子が力強い走りで見守る姿をひっそりと見守っていました。

普段の登下校や教室の授業では見ることのできない子どもたちの姿をマラソン練習で見ることができました。

そして何よりもマラソン練習で感じたことは、誰一人練習中に歩く子がいなかったことです。さすが吉田っ子です。私のこれまでの学校生活では見たことがありません。私も自分に厳しくしなくてはと思いました。